

同窓会会報

高知県立大学看護学部

第15号

平成29年10月15日発行

〒781-8515 高知市池2751-1



野嶋佐由美学長就任お祝いの会
(ザクラウンパレス新阪急高知にて)

ごあいさつ

同窓会会長 梶原和歌

今年夏の気候は、7月の九州北部集中豪雨をはじめ、各地で経験のないほどの大量の雨が降り注ぎました。一方、高知は高温少雨で、四万十市江川崎では37.9度を記録した日もありました。「よさこい」は、その暑さにもめげず、「よっちょれよー」と踊りまわり、国内200カ所以上世界21カ国まで広がり、五輪・パラでの演舞を目指しています。看護学部卒業生にとっては、大学に結集することで、母校愛や看護のやりがいを確認できた夏ではなかったでしょうか。7月22日、第43回高知女子大学看護学会が開催され、岡谷恵子先生による講演会や7つのワークショップが持たれました。その夜が同窓会総会で、29年度の事業や予算案が承認されました。

恒例の懇親会は、第18代野嶋佐由美学長就任お祝いの会として開催することになり、急遽しらすぎ会によびかけて共に発起人会を組織して、学内外の賛同者170名が集い激励の宴を持つことができました。翌23日は、高知県立大学看護学研究科創設20周年記念事業が開催され、修士・博士の卒業生など150名が参集し、「看護学研究科の未来図」の演題で野嶋佐由美学長・藤田佐和研究科長が講演をされ、5名のシンポジストが「歴史をつなぎ未来を創る」提言をされました。押し寄せる超高齢化社会と経済の逼迫、ICTの活用と人々の暮らし方、それらを包む環境や平和の問題など不安がいつぱいの時代に看護職には見える成果を出すことが求められています。だからこそ、研究科卒業生には多様な「看護の知」を創造し現場にフィードバックをしてもらい、さらに練り上げていく知の連携の充実を期待しています。こんなことが言えるのも、本校の看護学教育の歴史の重みと、先生方がモデルとなって科学研究費助成事業の新規採択率(2016年度全国4位)などで努力されている結果といえるでしょう。しらすぎ会があるのに、独自に看護学部同窓会を立ち上げて7年目です。この提案は野嶋先生など当時の教員から出されましたが、男女共学の新しい卒業生や修了生、ご先祖さまの女子大卒業生など混合部隊で縦・横の層厚く有意義な組織だと実感しています。最後に、高知県公立大学法人初代理事長で学長を4年間つとめられた南裕子先生に改めて感謝申し上げます。先生が帰高くださったので多くの難題が解決でき前進できたと感じています。



主な
内容

- ①同窓会会長ごあいさつ
- ②同窓会総会報告
- ③野嶋佐由美学長就任お祝い会
- ④同窓会・総会に参加して

- ⑤第42回高知女子大学看護学会報告
- ⑥高知県立大学看護学研究科創設20周年記念事業
- ⑦看護学部の活動



平成29年度 同窓会総会報告

平成29年度看護学部同窓会総会が、7月22日(土)に開催されました。本年度の総会は、ザ クラウンパレス新阪急高知を会場に、県内外から63名が参加して行われました。



議 事

議事進行にあたって、議長に今村優子氏(学部30期、修士10期)を選出し、次第に則って審議されました。

最初に庶務担当の池添志乃氏より、平成28年度同窓会活動報告があり、会計担当の川上理子氏より、平成28年度決算報告があり、承認されました。

引き続き、平成29年度活動計画案および平成29年度予算案、役員について、それぞれ提案があり、承認されました。野嶋学長就任をお祝いする会、看護学研究科20周年記念事業への支援について承認されました。また、ネットワーク拡大に向けて、卒業生の活動を今後も支援していくことが承認されました。

平成29年度活動計画

1. 会議
 - 1) 総会の開催
 - 2) 役員会の開催
2. 事業
 - 1) 講演会(高知女子大学看護学会との共催)
日時:平成29年7月22日(土)
テーマ:変動する世界の中で「ケアとキュアの融合」を刷新する
 - 2) 野嶋佐由美学長就任 お祝い会
 - 3) 会報発行 第15号、第16号発行
 - 4) 高知女子大学看護学会への活動支援
 - 5) 学生及び同窓生活動支援費
 - 6) その他



会次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議長選出
4. 議事
 - 1) 報告事項
 - (1) 平成28年度活動報告について
 - (2) 平成28年度決算報告について
 - (3) 平成28年度会計監査報告について
 - 2) 審議事項
 - (1) 平成29年度活動計画案
 - (2) 平成29年度予算案
 - (3) 平成29年度役員について
5. 看護学部長あいさつ
6. 閉会

平成28年度活動報告

1. 会議
 - 1) 総会 平成28年7月10日(日)
 - 2) 役員会 3回開催
2. 事業
 - 1) 講演会(高知女子大学看護学会との共催)
高知県立大学創基70周年記念事業特別講演会
テーマ:「地域医療とケアの時代への看護学の挑戦」
講師:南裕子先生(高知県立大学学長)
 - 2) 会報発行 第13号・第14号
 - 3) 学生ボランティアへの支援
 - 4) 高知女子大学看護学会への活動支援
 - 5) ホームページの充実



総会における同窓会役員



同窓会役員名簿(平成29年度)

役員名	氏名	卒業・修了期	所属
会長	梶原和歌	10期生	近森病院看護部
副会長	中野綾美*1	27期生	高知県立大学看護学部
書記	田鍋雅子	38期生・修士13期生	高知医療センター看護局
	山中福子	修士7期生	高知県立大学看護学部
会計	川上理子	35期生・博士9期生	高知県立大学看護学部
	西内舞里	46期生・修士12期生	高知県立大学看護学部
会計監査	鶴浜祥子	26期生	高知市保健所
	矢野智恵	38期生・修士1期生	高知学園短期大学
庶務	角谷広子	25期生・修士5期生	芸西病院看護部
	池添志乃	34期生・修士2期生 博士1期生	高知県立大学看護学部
	川本美香*2	修士13期生	高知県立大学看護学部



*1: 看護学部長
*2: 看護学会名簿管理係
*副会長は29年度は1名

平成28年度 会計報告

平成28年度 高知県立大学看護学部同窓会決算報告
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

収入の部

費目	予算額	決算額	差引	備考
前年度繰り越し	12,476,712	12,476,712	0	平成28年度在学生(学部、大学院)の終身会費含む
平成28年度会費	1,485,000	1,410,000	75,000	学部生: 84名・前年未納2名のうち81名納入[94.2%] 大学院生: 15名(前期11名, 後期3名, 実習1名) のうち13名(前期10名, 後期3名, 実習0名)納入[86.7%]
寄付金	200,000	204,000	△4,000	1口1,000円×204口(のべ23名)
利息	1,000	641	359	
収入合計	14,162,712	14,091,353	71,359	

支出の部

費目	予算額	決算額	差引	備考	
会議費	20,000	24,399	△4,399	役員会等	
事業費	同窓会会報発行費	600,000	400,000	200,000	会報発行3回-2回済 (3回目請求・支払い29年4月)
	高知女子大学看護学会支援費	300,000	300,000	0	高知女子大学看護学会への活動支援費
	創設70周年記念事業 参加費	200,000	137,000	63,000	クリアファイル作成(3,000枚)、お花代
	同窓会総会・懇親会運 営費	100,000	33,000	67,000	運営・謝品等
	学生および同窓生 活動支援費	400,000	60,000	340,000	1件あたり上限10万円
	緊急奨学金費	535,800	267,900	267,900	
事務費	役務費	370,000	195,553	174,447	郵送費、切手、はがき代、ホームページ管理費等
	印刷費	70,000	0	70,000	封筒印刷等
	消耗品費	100,000	7,579	92,421	ファイルほか事務用品、A4用紙、宛名シール等
	報償費	240,000	105,070	134,930	ネットワーク強化作業などのアルバイト料等
予備費	11,226,912	45,000	11,181,912	日本がん看護学会抄録集広告寄付	
支出合計	14,162,712	1,575,501	12,587,211		

平成29年度への繰り越し金=収入の決算額 14,091,353円 - 支出の決算額 1,575,501円 = 12,515,852円

監査報告書

高知県立大学看護学部同窓会会長 様

監査期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日

監査結果 証拠書類並びに簿籍簿を資料として監査を実施した結果、
正確かつ適正に処理されていることを認めます。

平成29年5月9日

会計監査

矢野 智恵
鶴濱 祥子



平成29年度 予算案

収入の部 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

費目	予算額	備考
前年度繰り越し	12,515,852	平成28年度在学生(学部、大学院)の終身会費を含む
平成28年度会費	1,590,000	15,000円×106名=1,590,000円 学部生: 82名 大学院生: 19名(博士前期課程16名, 博士後期課程3名) 前年度未納者: 5名
寄付金	200,000	1口1,000円×200口
利息	700	
収入合計	14,306,552	

支出の部

費目	予算額	備考	
会議費	30,000	役員会等	
事業費	同窓会会報発行費	400,000	会報発行2回
	高知女子大学看護学会支援費	300,000	高知女子大学看護学会への活動支援費
	研究科20周年記念事業 参加費	500,000	記念誌発行 交流会支援費
	同窓会総会・学長就任 お祝い会 運営費	100,000	会場費、お祝い会支援費等
	学生および同窓生 活動支援費	400,000	1件あたり上限10万円
	緊急奨学金費	535,800	
事務費	役務費	370,000	郵送費、切手、はがき代、ホームページ管理費等
	印刷費	200,000	封筒印刷等
	消耗品費	100,000	ファイルほか事務用品、A4用紙、宛名シール等
	報償費	240,000	名簿管理、書類発送に関するアルバイト料、各種手数料等
予備費	11,130,752		
支出合計	14,306,552		

野嶋佐由美学長就任お祝い会

7月22日(土)に野嶋佐由美学長、就任お祝いの会が開催されました。来賓の方や卒業生、修了生など171人の方のご参加のもと、盛大に開催されました。

野嶋佐由美学長



記念品・花束贈呈

発起人山崎美恵子先生



同窓生がお祝い会に集いました！

20回生(同期)からの サプライズメッセージ

精神科の看護さわる
意志つよく
卒後間もなくアメリカへ発つ

卒業のふり袖姿の
浮かびくる
今学長の博士のガウン

気のりせぬ
卒業生
手履実習したのに
今や学長 野嶋佐由美さん

ふりふりの
ワンレミーに蛇の目車
登校するさき 囃衆として

おしよりの
クラスメートのそばに居て
頼み持つ友 受けとめくれし

野嶋佐由美さん
学長ご就任おめでとうございます
短歌に託して、
高知女子大学 20期生 岡谷恵子

卒論を
南先生に指導され
あなたの力ぐんぐん伸びる



短歌に乗せた
メッセージに、
会場は暖かい
雰囲気
に包まれました

野嶋学長をお祝いする
たくさん笑顔が集まりました！

岡谷恵子先生(学部19期)

野嶋先生、高知県立大学の学長ご就任おめでとうございます。先生が高知女子大学の学生だった頃から知っている身としては、本当に感慨深いものがあります。東京のレストランだったか、喫茶店(今風に言えばカフェ)で、テーブルの奥に見えたアフロヘアはいまも目に焼きついてます。先生とは年に何回かしか会わない間柄ですが、いつ会っても私は自分の本音をポロリと吐露してしまいます。先生の反応がまた絶妙で、答えは自分の中にあるのだといつも思わされてしまいます。過度に承認するでもなく、突き放すわけでもなく心地よい距離感です。野嶋先生は、相手に余計な気を使わずに、人を気遣うことのできる人だと思います。

また、ここ数年の新たな発見は、結構政治力があるなということです。これは目からウロコでした。野嶋学長時代の高知県立大学がどうなっていくのか、わくわくした気持ちで見守っています。もちろん、卒業生として、また友人として少しの支援は惜しみません。エイジングケアにも気を配り、元気に颯爽と要職を乗り切ってください。



宮内 美紀子さん(学部16期生)



看護学部同窓会がしらすぎ会とともに企画して下さった、『野嶋佐由美学長就任お祝いの会』に出席させて頂きました。気づかいにあふれた素晴らしい会で、和やかな打ち解けた内にも、祝賀と大学発展への大きな期待が感じられました。梶原和歌会長はじめとする幹事の皆様のご尽力に心から御礼申し上げます。野嶋先生とは短期間ご一緒に仕事をさせていただく機会があり、職務や研究に時を忘れて邁進される様子にただ凄いと圧倒されました。臨床在職中は、症例検討会やスタッフの卒後教育でお世話になりました。現場でとすれば具象の中で右往左往して行き詰っている私共に、現象を抽象化し問題をくっきりと浮き上がらせて原因を辿り、次のアクションを的確に提示して下さるプロセスは、まるでマジックのようでいつも感動していました。学長というお立場上さらに御多忙になられると思います。ご参加の皆様の応援を得て、存分のご活躍をなさるとは思いますが、垣間見た仕事ぶりを思い出しますと、心よりこれからのご健康をお祈り申し上げます。

宮田 留理さん(学部32期生)



パンチパーマで英語交じりの日本語を話す、不思議な風をまとった先生に出会ったのは、大学3年生の時でした。先生に「あなたはどう思うの?」「どうしてそう思うの?」と何度も問われていくうちに、自分の価値観や固定観念でしか物事を捉えていない未熟な自分に気づかされました。以来、先入観を排し、多面的に物事を見つめる姿勢を大切に、一歩ずつ歩んできました。迷ったときは、「なぜ?」「どうして?」と自分に問いながら...。いつもさりげなく道を照らし、温かく見守り、導いてくださる先生。先生が高知にいてくださることが、私にとっての安心の元です。変革を遂げながら、看護が前に進む道を常に照らし続ける母校。同時に卒業生が道に迷い、苦しむとき、一旦立ち止まり、自分のあり様を見直すことのできる温かい場としての母校。35年もの長い間、大学を支え発展させてきた先生を心から尊敬しています。野嶋先生、学長就任おめでとうございます。

谷脇 文子さん(元高知県立大学教員)

野嶋佐由美先生、高知県立大学第18代学長にご就任心よりお祝い申し上げます。野嶋先生にお導きいただき、私は、平成16年、臨床から教育の世界へと新たな人生の道に進みました。先生は、柔軟で発想豊かな世界観、探究心、斬新な視点をもって、教師としての自己改革と成長への示唆を与えてくださり、改めて深く感謝申し上げます。さらに、数々の優れた研究業績による社会貢献はいうに及ばず、学生の研究教育の充実、教員の研究活動に良き刺激・影響を与えてくださり、多くの学びを得ましたことに重ねて感謝申し上げます。

学生定員増や学部再編成、男女共学化・校名変更・公立大学法人化など、大学改革における様々な課題が存在する中で、先生は、先見の明をもって優れた強力なリーダーシップを発揮され私たちをご指導くださり、皆で協働して立ち向かったことを思い起こしました。また、在職中、1年次担任教員となった際には、先生の学生教育に対する情熱と深い愛を痛切に実感しました。お祝いの会で、同窓生の皆様から寄せられたメッセージには、弱き立場となる人に対する配慮、困った時はじっと話を聞いてくださった姿と重なり彷彿させられました。さらに、発起人代表の梶原和歌様はじめ多くの皆様からのお祝辞・メッセージを通して、改めて先生の人間性豊かな素晴らしさに触れました。高知県立大学で学ぶこと、そして学びを教えることともに喜びを実感することの確かさを思いました。

そして、先生のご挨拶の中で、学則の冒頭「平和に貢献する」が述べられている旨のお話は、尊き理念として誰の心にも強く響くものであり、今後、野嶋佐由美新学長先生のもとで継承、一層豊かに発展していくものとご期待申し上げます。どうか健康に留意され、素敵な笑顔とともにご活躍を心よりお祈りいたします。在宅で母の介護に専念中、微力ではありますがずっと応援しております。



中平 洋子さん(修士2期生/博士11期生)

野嶋佐由美先生、学長ご就任おめでとうございます。

当日は、学長就任祝をお祝いする方々が勢揃い、出席が叶わなかった方々からもビデオメッセージが届けられる心あたたまる会となりました。

うすべに色のスーツ姿で野嶋先生が登壇されたのち、多くの方々がお祝いの言葉を述べられました。恩師でいらっしゃる南裕子先生のお言葉からは、野嶋先生を見守り続けてこられた様子が伝わってきました。また、学部同窓生の皆様は、学生時代のエピソードやお祝いを短歌に込めて披露されました。出席者がそれぞれに先生の学生時代へと想像を巡らせました。

野嶋先生に私が初めてお目にかかったのは、高知女子大学に修士の学生として入学した20年近く前のことです。私は、入学式の日、まだ1日しか通っていないにも関わらず、先生方の前で、「これで戻ってこられる“母校”ができます。」と挨拶しました。周囲からもれた笑いに、そうだった、修了しなくては母校にならないのだと自分でも笑ってしまったことを思い出します。当時のこの発言は、大学がこれからも在り続けるということに何の疑問も持たなかったことから出たものでしたが、今頃になってようやく、大学を発展させ続けることがどれほど大変なことか、先生方の絶え間ない努力があつてこそだと気付けるようになりました。野嶋先生には、指導教官として大変お世話になりました。そして、修了後も変わらず気にかけていただき、大変感謝しております。在学中は、ご自身の研究者としての真摯な姿を示しながら、根気強く、私のペースや傾向に合わせてお導きくださいました。その時のご助言や、折々にかけて頂いた言葉は、研究という枠を超えて、今も物事を判断する際の指標となって私の中にあります。

これから野嶋先生は、高知県立大学の歴史と伝統をつなぎながら、さらなる発展に向け、リーダーとして大きな決断を重ねていかれることと思います。どうぞ健康には十分留意され、目指す大学づくりを推し進めてください。



第43回 高知女子大学 看護学会の報告

平成29年7月22日に『変動する世界の中でケアとキュアの融合を刷新する』をテーマに、第43回高知女子大学看護学会が高知県立大学池キャンパスにて開催されました。当日は卒業生・修了生をはじめ県内外の看護職者185名のみなさまの参加をえて、活気ある学術集会となりました。

講演

岡谷恵子先生のご講演の様子



講演会場の様子



東京医科大学看護学科顧問であり、高知女子大学の卒業生でもあります岡谷恵子先生に、『新たな看護の創造に向けて、今、何をすべきか』というテーマで、ご講演いただきました。

講演では、まず、ケアの歴史、ケアとキュアの関係にも触れながら、人々の健康や医療に対するニーズの変化や超高齢化社会に伴うケアを必要とする人々の増加、保健医療サービスの変化など、近年の看護を取り巻く状況の急激な変化についてお話いただきました。その中で、看護の専門職者として、多様化する人々のケアニーズを発掘し、必要なサービスを創造すること、外来看護や在宅看護を充実させることが求められます。そのために、看護は何を人々や社会にもたらすのかということ意識し、一つひとつの看護行為の意味を考える重要性について、ご講演いただきました。

学会の参加者からは、「改めて看護の役割を考え直すことができた」「時代や社会状況の中でのケア、自分の立ち位置、できることを考えさせられた」「ケアとキュアを兼ね備えた看護師として求められている役割について考えることができた」「ここ数年介護の発展が進み、看護とは一体何を求められているか考えさせられた」「医療と介護というワードが主流になっていて、看護の存在が薄れているようで危機感を感じ、看護の存在をアピールしたい」「明日からの仕事に意味を見出すことにつながった」など、多くの感想が寄せられ、これからの看護のあり方について考える機会となりました。

ワークショップ

会場の様子

ワークショップⅠ



ワークショップⅡ



ワークショップⅢ



ワークショップⅦ



午後からは7つのワークショップを開催し、91名が参加されました。ワークショップでは、修了生や卒業生、教員の話題提供者から、実践の体験をもとに各テーマに関する報告や発表がされ、参加者との意見交換が行われました。

- ①助産師の自律性を発揮した妊産褥婦への援助
- ②医療的ケアを要する子どもの在宅支援
- ③ケアとキュアを融合した在宅での看取り ～多機関・多職種で協働して看取る
- ④EPI Nurse- 災害における参加型モニタリングと看護
- ⑤困難に直面した家族のレジリエンスを高める援助
- ⑥キュアの中にあるケアに気づくシミュレーション教育の挑戦
- ⑦看護の実践を語ることで気づく自己の成長

総会

大学の生協食堂にてランチ形式で行われた総会には、56名の学会員が参加しました。議長には学部34期生 野田真由美氏と博士8期生 大西ゆかり氏が選出され、平成28年度の事業報告、会計決算報告、会計監査報告が行われ、いずれも承認されました。審議事項として、会則第7条役員について、「会計監査」を「監査」に名称変更を行うことが提案され承認されました。続いて、平成29年度事業計画案について第43回学会と公開講座4回の開催に加え、平成29年7月23日開催の高知県立大学大学院看護学研究科創設20周年記念事業について、高知女子大学看護学会との共催とすることが提案され、いずれも承認されました。平成29年度予算案、運営委員交代についてもすべて承認されました。

高知県立大学看護学研究科 創設20周年記念事業 『看護学研究科の未来図』

本年、高知県立大学大学院看護学研究科は、創設20周年を迎えました。
平成29年7月23日に記念事業として講演会が高知県立大学池キャンパスにて開催されました。



野嶋学長講演



藤田研究科長挨拶



シンポジストの皆様



Home Coming Lunch

平成29年7月23日(日)に、「看護学研究科の未来図」をメインテーマに、高知県立大学看護学研究科創設20周年記念行事を開催いたしました。当日は、池キャンパスに、修了生、卒業生、在学生、学内関係者150名にご来場頂き、盛会のうちに終了いたしました。

午前中は、藤田佐和看護学研究科長より「看護学研究科の歩みと未来を拓く挑戦」をテーマに、野嶋佐由美学長からは「社会と協働してプロフェッショナルをデザインする看護学研究科」をテーマに、講演会を開催しました。講演会では、1998年4月1日にスタートした看護学研究科のこれまでの歩みを振り返るとともに、変動する社会の中で問われる看護学のあり方、大学院教育の責務、将来を見据え、社会と協働して看護のプロフェッショナルをデザインすることの重要性を再認識しました。

講演のあとHome Coming Lunchを行い、アットホームな雰囲気の中、在学生、卒業生、修了生、学内関係者の交流ができました。

午後からは、シンポジウム「歴史をつなぎ未来を創る」を開催しました。シンポジストとして、修了生の関根光枝氏(日本赤十字広尾訪問看護ステーション所長/家族支援専門看護師/看護学研究科修士課程10期生)、田鍋雅子氏(高知医療センター看護部長/看護学研究科修士課程13期生)、久保田聡美氏(医療法人須崎会高陵病院教育顧問/高知県立大学大学院研究員/健康生活科学研究科博士後期課程3期生)、中西純子氏(愛媛県立医療技術大学保健科学部長/健康生活科学研究科博士後期課程1期生)、在校生の西川愛海氏(看護学研究科共同災害看護学専攻1期生)5名を迎え、看護学研究科修了後、在学中のそれぞれ立場での取り組みと、今後のビジョンが語られました。

看護学研究科の役割として、今後も高度実践看護者を育成し、地域の課題解決の拠点となりながら、学術・国際・産官学連携への挑戦や新たなチャレンジを続け、看護学の構築に貢献する次世代を担う教育・研究者を育成することの重要性について討議しました。

次回は、創設30周年記念事業を目標に、高知県立大学大学院看護学研究科は、皆様とともに今後も探求する心を持ち続け、模索しながらも、伝統を重んじ、挑戦する勇気と姿勢を持ち続けます。

最後になりますが、高知県立大学看護学研究科創設20周年記念行事に際し、看護学部同窓会から多大なご支援を頂きましたことに、感謝申し上げます。

看護学研究科20周年にあたって



岩本真紀さん
(学部42期生、博士11期生)
香川県立保健医療大学

「母校での学びを活かして」

高知県立大学大学院看護学研究科創設20周年おめでとうございます。私は、高知女子大学を卒業してはや21年が経ちます。看護師として働き始め、現在は香川県立保健医療大学で看護教育や研究に励んでいます。大学時代には、多くの課題に取り組むことで精一杯でしたが、今思えばとても贅沢な時間であったと思います。看護職は専門職であり、就職した後も学び続けることが大切であると多くの先生方から言われましたが、臨床現場で患者さんと接したり、学生指導を行う中で、自分の足りない部分が見え、本当に学ぶことが重要であると実感しています。

大学院博士課程では再び母校に戻り、看護理論、看護倫理、看護研究等多くの学びを得ることができ、看護学について考える機会となりました。また、学部時代の同級生との再会や新たな出会いもあり、交友関係が広がりました。様々な意見交換を通して、多くの刺激を受けることができ、自分も頑張ろうと思うことができました。これからもそうした交友関係を大切に、協同しながら、少しでも看護学の発展に貢献できるよう努力していきたいと思っています。



久保田 聡美さん
(学部32期生、博士3期生)

「新たなことへの弛みないチャレンジ～看護のダイヤを探し求めて～」というテーマで、

大先輩や娘の世代の未来輝く人ポジストに囲まれて、未だに試行錯誤している私の現状のお話をさせていただきました。母校(当時は家政学部看護学科)を卒業後、健診機関、急性期病院の看護管理者、大学教員、訪問看護ステーション等様々な場で活動しながら、常に意識してきたのは臨床と教育をつなぐことです。そして、学会活動においては、学際的な活動を自分の軸に据えて、クリニカルパス学会や禁煙学会といった多職種の集まる場において「看護」をいかに伝えていくかを大切にしてきました。

病院の看護職は、いつも忙しく働き、常にリスク管理に追われています。一人ひとりの看護師が、自分で感じ、考え、行動する自由を奪われている気がしています。そして、病院の機能分化が進む中、病院間の格差も大きくなっています。そんな状況に危機感を感じ、現場の看護職が「看護」を考える場創りのために、中小病院における教育支援や退院支援の仕組み創りに取り組んでいます。大学の健康長寿センターの退院支援事業のお手伝いもさせて頂いています。そうした仕組み創りを通して、高知県では病や障がいを持っていても安心して生活できるのは県立大学に看護学研究科があるおかげだと言われるようになるという未来予想図を思い描いています。



安岡しずかさん
(修士14期生)
医療法人新松田会
在宅ケアセンターあたご

高知県立大学大学院が創設20周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。校名変更され、法人化、男女共学という学内も新たな流れの中で大学院教育を受ける機会を得ました。実践の中での言語化や意味づけに難渋しながら目の前の課題を処理していたことに限界を感じていましたが、先生方に支えられ、仲間達とともに、「看護」とは何かといった自分自身のキャリアの根幹を見つめ直し、理論や概念から思考の拠り所に触れ、現象を捉えて整理、分析していく手法など、沢山の貴重な学びを得ることができました。乳幼児から高齢者まで、地域の中で複雑で多様なニーズを持ち合わせて生きていく人々の健康を、様々な価値観を持つ多職種のチームメンバーと共有し多機関で連携・協働していくためには、柔軟な思考と幅広い知識、理解につながる寛容さが求められます。

大学院教育での学びを軸に、今後も大学の先生方との繋がりや修了生たちとのネットワークをもって、地域での課題解決、地域づくりに取り組んで参ります。これまでの大学での学びと出会いに感謝するとともに、今後の大学の更なる進展をお祈りいたします。



田井雅子さん
(学部34期生、博士10期生)

4期生として修士課程に入学した頃は、まだ専門看護師の認知度は低く、臨床で専門看護師について

説明するのに苦勞をしたことを今では懐かしく思います。それが20年の歩みの中で、多くの修了生がさまざまな場で活躍し、高度な実践や研究の成果を通し看護の現場が少しずつ変わってきたと感じています。一方で、社会の急速な変化の波は、看護にも否応なく押し寄せ社会や時代が看護に要請するものが多彩になると同時に、看護はいつまでも安泰だと言っていられない時代に入ったと感じることも多くなりました。そのような時代だからこそ、看護学を大学院で学び、看護学を探究する意味の重みが増しているように思います。

社会の変化に柔軟に対応しながらも、看護の本質を見失わず、変わらなければならないものと、変えてはならないもの、容易に手放したり、誰かに委ねてはならないものは何かを問い続け、看護の存在意義を伝えていくことが必要だと感じます。10年後、20年後にも看護が魅力のあるものであるよう、看護学研究科のつながりを力に、看護の未来を創っていくことが修了生には課せられていると20周年を振り返り感じました。

ご寄付をいただいた方

下記の皆様より寄付をいただきました。誠にありがとうございました。(敬称略 平成29年8月31日現在)

岡本 英様(13期)	窪谷由美子様(24期)
岡田湊子様(7期)	角谷広子様(25期)
加来明日香様(12期)	小林順子様(25期)
佐々木正子様(5期)	伊賀上睦見様(16期)
山田 薫様(26期)	東 操子様(5期)
戸田由美子様(修士5期)	北川里佐子様(27期)
井上美智子様(14期)	岡本真知子様(22期)
佐藤美穂子様(18期)	森下利子様(19期)
高橋みや子様(19期)	
上原由美様(32期)	他8名様からご寄付をいた
大村典子様(23期)	いています。
高橋久子様(7期)	

看護学部・看護学研究科の活動

看護学部では、毎年、各専門領域ごとに卒業生、修了生、また地域の専門職者の方々との学びを共有する場として看護相談室を開催しています。
今年度の予定が決定しています。
ぜひ、ご参加ください。
高知県立大学のホームページにも詳細が記載されていますので、ご覧下さい。



高知県立大学看護学部

看護相談室 2017・後期

看護相談室は、11の専門領域が、高知県の保健・医療・福祉に従事する皆様方と共に、ケアの質を向上させることを目的としています。
<http://www.u-kochi.ac.jp/~kango/a-consult.htm>
日程の確認にはホームページをご活用ください

家族看護学

* 長戸研究室 ☎088-847-8708

I. ケア検討会 10/14(土)、1/20(土)10時~15時 修了生対象
II. 交流会 9/2(土)千葉

精神看護学

* 田井研究室 ☎088-847-8723

I. ケア検討会 9/21(木)、12/21(木)、3/15(木)19時~21時
II. リカレント教育 第2回日程調整中

がん看護学

* 藤田研究室 ☎088-847-8704

I. ケア検討会 10/7(土)、2/17(土)
II. 交流会 2/3(土) III. リカレント教育 11/24(金)、3/3(土)13時~15時

クリティカル ケア看護学

* 大川研究室 ☎088-847-8703

I. ケア検討会 12/2(土)13:30~15:30

慢性看護学

* 内田研究室 ☎088-847-8720

I. ケア検討会 11/17(金)18:30~20:00 池キャンパス
II. リカレント教育 9/2(土)、2/3(土)13:30~16:30

小児看護学

* 中野研究室 ☎088-847-8710

I. 赤ちゃん同窓会 10月8日(日)
II. 卒業生の会 12月17日(日)関東、2月 関西

母性・助産 看護学

* 嶋岡研究室 ☎088-847-8707

I. ケア検討会 11/10(金)、1/19(金)15:00~17:00
II. リカレント教育 12/21(木)15:00~ III. 交流会 12/21(木)13:00

地域看護学

* 時長研究室 ☎088-847-8715

I. ケア検討会 12/18(月)、2/9(金)
II. リカレント教育 11/9(木)、12/22(金)

在宅看護学

* 森下研究室 ☎088-847-8709

I. ケア検討会 9/19(火)、2/20(火)18:30~20:30 D220教室
II. 修了生の会 第1回夏頃、第2回1月、* 終了後、交流会開催予定
III. リカレント教育 日程調整中

老人看護学

* 竹崎研究室 ☎088-847-8705

I. ケア検討会 10/10(火)18:30~
II. リカレント教育 開催時期未定

看護管理学

* 山田研究室 ☎088-847-8716

I. ケア検討会 10/6(金)、1/19(金)18:30~21:00
II. リカレント教育 11/25(土)18時~19時 III. 交流会 11/25 19時~21時

寄付のお願い

同窓会への寄付のご協力をよろしくお願いいたします。
寄付金は、同封の振込用紙にてお願いします。ホームページでもご覧いただけます。
ご不明な点はいつでもお問い合わせください。



今夏は、猛暑でありながら、豪雨災害が各地で起こりました。皆様のお住まいの地域は大丈夫でしたでしょうか。
本号では、今年度の同窓会総会、野嶋佐由美学長就任お祝いの会、第43回高知女子大看護学会、高知県立大学看護学研究科創設20周年記念事業の記事をお届けすることができました。変わることのない同窓生のつながりと共に、新たなネットワークのひろがりを感じます。
これからも同窓会から様々な情報を発信して参ります。ぜひ、皆様方の近況などをお知らせください。
(池添・山中・川本・西内)

編集後記

事務局

〒781-8515 高知市池2751-1 高知県立大学看護学部
Fax: 088-847-8750

ホームページアドレス

高知県立大学
<http://www.u-kochi.ac.jp/>
高知県立大学看護学部
<http://www.u-kochi.ac.jp/~kango/>

